

ISACA 東京支部 会員各位

ISACA 東京支部
調査研究委員会

テクノロジーインフラ研究会の新規募集の件

調査研究担当常務理事の木村章展です。

平素は当委員会の活動に格別のご理解ご厚情を頂き、誠に有難うございます。

以下の内容で新規研究会の会員を募集いたします。

募集の要件

別紙の応募フォーム所定の事項にご記載の上、3/31までにEメールをお送り下さい。
あて先：tkresearch@isaca.gr.jp

研究会名：テクノロジーインフラ研究会（2007年度新規募集分）幹事：川上

背景：

J-SOXにおいて内部統制を効果的・効率的に構築するためITの利用が有効である。ただし、ITを利用する上では、ITへの対応を行う必要がある。つまり、ITを利用し、ITに依拠する統制を組み込むためには、IT全般統制の各要素を管理する必要がある。その中で、特にテクノロジーインフラの設定状況・管理状況・利用方法については、その全ての専門的技術を熟知し、どこまで対応する必要があるのかを判断するのは難しい。

目的：

IT全般統制のテクニカル面での様々なシチュエーションにおいてのベストプラクティスを検討し、J-SOXに向けての具体的な対策として参考の一つになるようなものを作り上げ、関係者へ向け参考になるもの一つとして発表する。

研究テーマ（敬称略）：

主にSOXに影響のあるテクノロジーインフラについての研究を行う。

分野については、例えば以下のようなものを一つの分け方として考える。

○アクセスセキュリティ

－業務サーバのデータベースセキュリティ（ORACLE、SQLServerなど）

－業務サーバのOSセキュリティ（UNIX系OS、Windows系OSなど）

－内外のネットワークセキュリティ（ActiveDirectory、ルーター、Firewallなど）

（上記分野のユーザ管理、パスワード管理、ログ管理、サービス管理など。）

○運用業務

－バッチ処理管理（cron（UNIX）、タスクスケジューラ（Windows）など）

－バックアップ/リカバリ管理

○プログラム変更、新規システム開発

－プログラムソース管理ツール

目標成果物 :

IT 全般統制のテクノロジーインフラにおいて、J-SOX に向けての具体的な対策になるようなもの。

※これが正解というものではなく、あくまで一つの参考として利用できるようなもの。

入会対象者（目安） :

上記研究テーマに記載されたようなテクノロジーに詳しい人、経験者、興味のある人（職種は何でも。）

開催場所、開催頻度 :

月 1、2回ぐらい実施予定。場所は日本教育会館かその他の会議室、もしくはメンバーで会議室を提供していただけるようであればお借りする。

メンバーの集まり具合により各テクノロジーインフラごとにフェーズを分ける。

研究会メンバーの集合ミーティングを基本とし、必要に応じてベンダの方をお招きし、意見交換を行う。

集合ミーティングにおいて、メンバーの中で端末上実践して見せていただけるような方がいらっしゃれば、プロジェクト等で映し出しながらミーティングを行う。

（その他イベント：定期的な食事会。）

以上

以 上